

ものづくり

富士電機は、地設(現地設計)・地産・地消の考えのもと、日本をグローバル・マザー拠点(工場)と位置付け、アジア・中国を加えた3拠点体制でものづくりを進めています。同時に、ものづくり力を高めるために、サプライチェーン改革を通じて強化した「現場力」に加え、「生産技術力」「人材の育成」に注力し、さらなる競争力の向上に取り組んでいます。

ものづくりを支える3つの柱

現場力

製造現場に必要な技能を高め、生産性の向上やコスト低減などを実現していく力



生産技術力

お客様にご満足いただくために、製法や生産工程、生産設備を開発・適用していく力

人材の育成

これまで蓄積してきた、ものづくりの改革に必要な技術・技能の継承

2013年度の主な取り組み

生産技術力の強化

競争力の高いものづくりを行うために、生産技術力の強化を図っています。設備技術センター(埼玉地区)には、核となる生産技術者が結集し、設備技術開発やコアとなる要素技術の開発に取り組んでおり、これらの成果を各工場と連携して、実際の製造設備や工程改善に展開しています。

具体的には、生産設備やライン、試験・評価設備の自動化に向けて、製造現場における作業や独自の発想を簡便な自動設備に置き換え、現場の設備技術力を高めるとともに、ロボット技術を駆使して、多品種かつ物量変動にも対応可能な自動化ラインの開発などを進め、リードタイムの短縮や生産性向上に取り組んでいます。

組立工程における自動化(GE富士電機メーター(株)安曇野工場)

2013年度は、スマートメーターの受注拡大に向け、組立工程における自動化に取り組みました。プリント基板の試験工程において、従来は手作業で試験・半田付け・コーティングしていた工程に搬送設備を開発することで、自動化しています。



自動化したプリント基板の検査ライン

人材育成の強化

メーカーの原点であるものづくり強化に向け、国内の各工場をマザー拠点として、技術・ノウハウの蓄積、海外の生産拠点で活躍できる生産技術者や技能者の育成に取り組んでいます。海外の各工場では、ものづくりの根幹である技能教育、品質マネジメントシステムの向上、サプライチェーン改革推進を通じて、業務品質と効率の改善を図っています。

ものづくり教育体系

	技術系	技能系
管理職	マネジメント研修	
一般社員	コア技術実践教育 応用 製造技術 管理技術 基礎 製造技術 管理技術	監督者教育 製造主任 作業長 リーダー
	基本技術教育(IE※1、QC※2、VE) 入社2年目 新人生産技術者教育(新設) 中核生産技術者教育(新設)	新人技能者教育(1年間) 技能五輪(3年間)

※1 工程設計 ※2 品質管理

新人生産技術者教育

2013年度は、生産技術部門に配属される新入社員を対象に、3か月間の集合教育を実施しました。要素技術、重要基本作業といった基礎技術を2か月間で習得。その後、チームに分かれて、自動搬送装置を製作しました。生産技術を担うために必要な企画・設計・調達・組立・調整・評価までの一連の設備構築の工程を学習しました。



自動搬送装置の製作の様子

技能五輪全国大会で入賞

2013年11月に実施された第51回技能五輪全国大会において、富士電機エフテック(株)から「抜き型」職種に3人が出場し、銀メダル、銅メダルを受賞しました。優秀な技能者が、ものづくりの現場において中核人材として成長することにより、富士電機のものづくりの強化につなげていきます。



技能五輪全国大会の様子

Voice 社員の声



富士電機マニファクチャリング(タイランド)社
取締役兼製造部長
Natee Nararatnkul

アジア生産拠点の立ち上げ

タイ新工場立ち上げにあたっては、操業ロスを最小限に抑えるため、資材や設備のきめ細かな搬入計画の策定・実行、多種多様な製品の製造に応える設備や生産システムの整備を行いました。そして何よりも、ものづくりを大切にす人材育成に力を入れ、鈴鹿工場などマザー拠点が主体となり、品質の要である重要基本作業の教育、指導、認定を行うとともに、作業教育や現場改善活動などを計画的に実施し、ものづくりのDNAを伝えていきます。低価格で高品質な製品を提供するために、アジアの生産拠点として成長していきます。



タイ新工場の製造ライン